

当社では「従業員一人ひとりの多様性を尊重し、その能力が最大限に発揮できる職場環境づくり」を目指し人事制度のさらなる充実に向けて取り組んでまいりました。

人事制度の見直し、および事業所内託児所の開設に携わった担当者から話を聞いてみました。



人事制度の見直しについて教えてください。



総務人事部
野々山 誉男

女性の活躍推進に向けて、まずは2点の制度の見直しを行いました。

- ① 育児短時間勤務の取得可能期間の延長
(小学校就業前まで→小学校3年生まで)
- ② 育児、介護、配偶者の転勤に伴う退職者の再雇用制度の導入

今後の課題を教えてください。

いかに従業員のニーズを把握し、諸制度へ反映させていくかが重要であると考えています。女性の活躍推進法も制定され、ますます環境面、制度面の整備が必要不可欠になってきます。引き続き、職場での困り事やニーズを着実に吸い上げ、環境面、制度面を充実させていく必要があると思っています。

事業所内託児所の企画のポイントを教えてください。

2014年4月にプロジェクトが本格的に始動しました。従業員の仕事と育児の両立支援ができる託児所を目指しました。また、どんな保育プログラムなのか、食事はどんなものが提供されるのかを事前に知っていただけるよう、開園前に託児所をイメージした広場を会社行事で出展したりしました。従業員が安心して仕事に集中でき、子どもも楽しく過ごせる素敵な託児所が開園しました。



総務人事部
野崎 典子

利用者の声



総務人事部
田中 真依子

T-Kids開園とともに3歳と1歳の子どもを預けています。T-Kidsは働くママ目線で考えてくれていると感じることが多々あります。お昼寝用のお布団や、乳児がご飯やおやつを食べる時のよだれかけ等すべて用意していただけるので、準備や洗濯の手間が省けます。また、祝日も預かってくれるため、お休みをとらなくていいのはとても助かります。子育て世代の女性の会社復帰を後押しする環境で働けることが大変ありがたいことだと感じています。

今後、どのような課題がありますか？

1人でも多くの従業員に利用してもらえるよう利用促進活動が必要だと思っています。育児休業の方を対象としたランチミーティングや、男性従業員向けの施設見学会などを行い、託児所を積極的に活用いただけるように対応していきます。

野崎

今後の展望をお聞かせください。

女性従業員の採用比率向上や、管理職比率向上に向けたリーダー意識の醸成に取り組む必要があるとともに、今後は多様性が尊重される職場となるよう意識・風土改革を進める必要があると考えています。

野々山



◆託児所「T-Kids」

仕事と子育ての両立を支援し、従業員が安心して仕事に集中できる環境を整えることで、優秀人材の確保につなげることを目的とし、2015年4月に開園。祝日を含め会社稼働日に合わせて運営。祝日など公立の子ども園が休園で当社稼働日に預け入れができる一時保育を設定している。

